



# 「臥竜鳳雛」



\*タイトルの意味は？調べてみよう

2021・4・8 第39号

学年主任 森本 聡一郎

3年間の「自分探しの旅」を感動に満ちたものにしよう  
最上級生の自覚をもち、夢の実現のために良いスタートを切ろう！

**普通であることを最低限のレベルと心得よう。**

**その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。**

## 1. 「高校生活ラストイヤーの始まりに当たって」

☆『**学校の勉強 +  $\alpha$** 、さらに +  $\alpha$ 』を毎日繰り返すこと

学校の勉強が理解できることは基本中の基本ですが、進路実現を考えるならば、継続的にプラス $\alpha$ の学習努力を続ける必要があります。部活動をしている人は、「えー！これ以上勉強するの…?!」と言いそうですが、答えはきっぱりYESです。十分できます。これまでの家庭学習の量を考えれば時間はたっぷりあるはず。そもそもこれまでが、全国標準に及ばないのでから…。

残りは数か月しかありませんから、ここで頑張らねばどうする。気持ちを切り替え、心を鬼にして、さあ進路実現です。大体からして、どこかの学校に合格したところで次の保証などどこにもないのです。世の中、そんなに甘くはありません。苦勞して受験を勝ち抜いたはずの学生が、再び出口のところで苦勞して泣いているのですから。まして、努力もしていない様な者を選ぶ企業などどこにもありません。

☆**最高学年は風紀に一番厳しくあれ**

上級生の締まらない学校が立派な学校である訳がない。学校の責任を両肩に背負い、模範を背中ですすこと。まずは、その自覚を確かなものにしておいてください。「3年生だから許される」のではなく、「**3年生だからこそ許されない**」と思うべきなのです。キミ達の背中を見て、「これが最上級生になる者の姿なのかな」と思ったり、「それでも少しは成長してきたのかな」などと思うことはあります。

人生の大きなターニング・ポイントに差し掛かりますが、これまで通り自分自身と学年全体の絆を忘れることなく行動してください。キミ達一人ひとりの節制と克己が集団に勇氣と力を与えます。望ましい成果はそのような行動なしには達せられないことを肝に銘じておいてください。「俺はおれた」では周囲に迷惑をかけ、集団の足を引っ張ることになりかねないのです。

最上級生としての誇りとは、ここまでいろいろな辛抱や我慢してきた者がもつ、しっかりとした背中に表現されるものです。口や態度で偉そうに振舞う3年生ではなく、後輩たちがキミ達3年生の背中を見て「上級生はしっかりしているなあ」と思うような姿勢で学校を引っ張って行ってください。

74回生 がんばれ！



## 2. 「第3学年団、担任からのメッセージ」

### 1組担任 沖守 春樹 先生

副担任 岸本 喜明 先生（地理歴史）

283日、何の日数でしょうか。

答えは皆さんが受ける共通テストまでの残りの日数です。2022年1月15日（土）午前9時30分より開始のチャイムが鳴ります。また、推薦入試を考えている人は、11月、12月に受験日が集中することを考えると、あと何か月、何日くらいあるでしょうか。

3月には模試の結果が返却され、各科目の成績分析を行ったと思います。これを読んでいる今、弱点科目・分野の総復習は完璧と胸を張って言えますか。「難関大合格者の半数以上が、平日：2時間以上、休日：4時間以上の自主学習時間を確保している」というデータがあります。勉強時間だけが大事ではありませんが参考にしてください。

さて、私の今年度の抱負は料理のレパトリーを増やす、筋トレを継続する、テレビの視聴時間ではなく読書の時間を増やす、です。頑張ります！

### 2組担任 石元 真理 先生

副担任 荻野 敏久 先生（情報・数学）

あっという間に2年の月日が流れ、いよいよ皆さんも高校3年になりましたね。昨年度は、約2ヶ月間の休校期間を経て学年がスタートしたこともあり、例年よりも一年が早く過ぎたような気がします。当たり前のように過ぎていく一日一日が、とても重要に思えました。

そこで今年度は、私自身二つのことに留意したいと考えます。それは、【学び続けること】と【対話すること】です。この二つは、高3生の担当になったときに、生徒に必ず伝えることです。今年度は自分自身も意識していきたいと考えます。皆さんの進路実現のために、最大限のサポートができるよう努めます。どんな些細なことでも相談してください。“Believe you can, then you will.” そして何よりも、健康には留意しながら、卒業までの日々を共に過ごしましょう！

### 3組担任 山崎 翔太 先生

副担任 瀧上 和義 先生（国語）

今年度が終わったときに後悔をせずに良かったと思える一年にしたいです。「やる」か「やらない」かを迷ったときは、「やる」ことを選択することを意識していきます。

74回生のみなさんは、今年度に進路決定という大きなイベントがあります。自分の人生に後悔しなくてもいいようにやらないといけないことは早めに「やる」という選択を心がけてください。卒業式と一緒にこの一年が良かったと振り返りましょう。

### 4組担任 稲谷 英俊 先生

副担任 中西 翔一郎 先生（数学）

高校生活も残り一年となりました。この一年は自分の進路についてよく考えていかなければいけません。3月には多くの方々に進路講演をしてもらいました。目標実現のために今自分が何をすべきなのか、イメージはできましたか？心配事や悩み事も多くなるかもしれませんが、それも必要なことだと思います。自分の進路は先生のためではなく、保護者のためでもなく、自分のものです。責任は自分でしか取れませんのでしっかり考えましょう。

また、部活動や学校行事も最後の年です。後悔しないように最後まで頑張りましょう。しっかり取り組むことができたなら、結果によらず満足するものです。

さて、いろいろ書きましたが最後に私が皆さんに望むことは、「元気に楽しく学校生活を送ること」です。去年の今頃は、教室は空っぽで寂しく感じました。元気に登校できるよう、健康には気をつけてください。また、今日久々に教室に入って友達を見ると、安心したのではないのでしょうか。苦しいときや辛いとき、励みになるのは一緒に歩んできた同級生の存在です。この仲間と過ごせるのもあと一年です。一日一日を大切に過ごしましょう。

**SAM : Try your best to make each day in HOMEI as memorable and enjoyable as possible!**

### 3. 「4月の行事予定」

4月	8日(木)	大掃除・着任式・始業式
	9日(金)	課題考査(1限～4限)・離任式(午後)
	12日(月)	対面式・部活動紹介・情報教育講演会(3限)・LHR(4限) 身体計測(午後)
	13日(火)	1～6 限平常授業、7 限学年集会(格技場)
	15日(木)	歯科検診(全学年) 昼休みに歯磨き
	19日(月)	眼科検診
	23日(金)	遠足(淡路島)
	28日(水)	進路別講演会(5～6限)

### 《人のために奉仕しているときは、自分が親切を与えていると思わずに、ツケを返しているとおもうようにせよ》

ベンジャミン・フランクリン (1706-1790 アメリカ政治家)

もう自分のことなど自分でできるはずのキミ達ですが、3年生になれば進路関係のことでこれまで以上に先生方の世話になることとなります。そして、進学ともなれば、保護者の方々に大変な出費をしていただくこととなります。キミ達はまだ学生であり、未成年なので、それはそれで甘えなければ仕方がないことですが、しかし、「してもらって当然」ではありません。」もっと言えば、キミ達は人生ここに至るまで途方もない恩義を受けてきているのです。そのことを理解すれば、これ以上要求するのは虫が良すぎるのではないのでしょうか。

「あなたの国があなたのために何ができるかを問わないでほしい。あなたが、あなたの国のためになにができるかを問うてほしい。」これは、米国第35代大統領ケネディが1961年の就任演説で述べた有名なセリフです。同じように、残る1年間、保護者の方や学校に何かを要求するのではなく、反対に、自分に何ができるかを考えて実践していくことはキミ達の義務であり、使命であるのです。誰かのために何かをするのは立派かもしれませんが、それはこれまでの途方もない借りを少しばかり返済するというだけのことではないのでしょうか。